

平成 28 年 4 月 30 日

## 助成事業実施報告書

団体名なごみハウス園

代表者・役職名 氏名ホーム長 野田 大燈

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

火災から子どもたちを守るために

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成 21 年の厚労省より自立援助ホームを全県下に一施設設置と言う方針について役員会に諮ったところ『四恩の里』は児童養護施設・情緒障害児短期治療施設を運営しているが施設を退園しても行き場のない子ども達へのフォローが出来ていない。運営は厳しいと言われているが「必要な施設であるならば取組むべきだ」との役員決議により平成 22 年 4 月 1 日設立に至った。定員 6 名

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

消防法の法令に伴い変更。法令を遵守し、子どもの安全を第一に考える。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

施設に自動火災報知設備を取り付け及び、リビングのカーペットを防災カーペットに新調する。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

以前より安心した環境の中で子どもたちを支援できるようになり、一人勤務が多い職員にとっては本当に心強いです。また新しい火災機器を整備することがきっかけになり、災害は他人事ではなく身近に起こり得るものだと感じられたのか「台所から火事になったら何処へ逃げたらいいの」等職員・子ども達が災害に対する意識が高まり、今まで以上に真剣に避難訓練に取り組むようになった。防火カーペットも新調でき、リビングも明るくなった。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

防火設備・防火カーペットを整備したことで安心することなく、今までとおり、設備の点検、毎月実施している防火訓練を継続して実施していく。

災害の報道ニュース等を基に子ども達と真剣に災害対策について考えていきたい。

### 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

# 圓だより

第 66 号

【巻頭言】

## 防災意識

指導員 岡田 有梨

4 月 14 日 21 時 26 分頃熊本県で大きな地震が発生しました。連日ニュースで報道されている熊本の様子を見て、ホーム生も職員も防災への意識が高まっています。

ホーム生からは、「もし地震が発生したら圓で準備している備蓄の食料では足りないかもしれないから、自分で購入して置いておこうか」「もし災害が起こったら何処の避難所に行けばよいのか」など、普段の生活の中に自然とそのような会話がありました。

職員間でも、マニュアルはあるが、宿直の夜に地震が発生したらどのように対応したら良いか考えていないと困る、などの意見がでました。

今回の地震から感じたことは、普段からの備えが大切である事を改めて感じました。今回の地震をきっかけに防災について、ホーム生と一緒に考え、もし地震や火災が発生した場合、慌てず落ち着いて行動できるように、毎月行っている防災訓練を有意義な物にしていきたいです。

### 「shinjo プロジェクト」

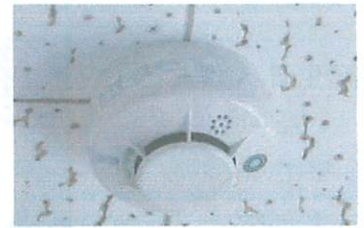
この度、消防法の法令の火災報知の設置基準が拡大され、それに伴い、自立生活援助事業も平成 30 年 4 月迄に設置義務が発生しました。

自立する為に、この厳しい社会の中で一生懸命仕事をしているホーム生達に寄り添

いながら、安全で安心した環境の中で応援していきたいと職員は常々から考えており、早急に設置したいと考えていました。

そこで、真如苑の「shinjo プロジェクト」に申請をし、助成金を受けて無線式連動型警備機能付感知器取付機器及防火カーペ

ットを頂くことができました。火災感知器は、どこで火災がおきても全部屋に「別の部屋で火災です」等などの言葉でお知らせがあるので、早く避難行動に移すことができるようになります。



また、ホーム生たちが必然的に集まるようテレビを設置したりリビングはリラク



スし、たわいのないお喋りから、ホーム生との信頼関係につなげたりする場として大変必要な場所です。そのリビングのカー

ペットが古くなっており、また日当たりもあまりよくないので、現在のグレーから明るめの色の防災カーペットに変更することにより、安全で明るい暖かい空間にできました。真如苑さん、本当にありがとうございました。

### 消 火 訓 練

火災器具を設置していただいた業者にお願い消火訓練の練習をさせてもらいま



した。お仕事の都合で全員のホーム生は参加できなかったのが残念でした。

## 誕生日

3 月 30 日に、女の子のホーム生が 18 歳を迎えました。昨年の 4 月に入所して 1 年。

調理の仕事を頑張りながら大人へと成長していく彼女を職員みんなうれしく思っています。今後も、彼女の成長を温かく見守っていきたいと思います。

### 18 歳の目標

早出も多くなると思うので仕事を頑張る。私生活を頑張る (圓での生活をきちんとする、圓のルールを守る)

### 誕生日メニュー

- いなりずし
- 野菜の天ぷら
- チーズケーキ
- (リクエスト)



## ホーム会



徳島県から入所しているホーム生の所へ入所以来、毎月必ず圓まで面会に来てく

れていたケースワーカーさんが 3 月末で異動になり、最後の面会の時に全員で夕食を食べました。

ホーム生も率先してお手伝いしてくれテーブル一杯

の料理でおもてなしができました。やはり皆でテーブルを



囲んで皆で食べる食事は美味しく話もはずみました。

ケースワーカーさん本当にお世話になりました。また遊びに来て下さい。お待ちしております。

## 初めまして

指導員 池田 美浜

4 月から指導員として、お世話になっています。以前は、知的障害者支援施設で勤務していました。ホーム生が、安心して生活できるように努めて行きたいと思います。

## ご寄付

ありがとうございました。

日光商事様・・・お菓子

### 利用状況 5 月 1 日現在 (定員 6 名)

	16 歳	17 歳	17 歳	18 歳	18 歳
男子		1			
女子	1		1	1	1
就労	調理	建設	接客	製造	調理

編集後記： 新年度になりました。あつと言う間の 1 年間でした。ホーム生も職員もこの 1 年自分の目標に向かって頑張ってきました。28 年度何が待ち受けているかわかりませんが、皆で助け合って前へ進んでいきたいと考えています(宮脇)



〒761-8053

香川県高松市西ハゼ町 338 番地

TEL (087)813-7720

FAX (087)813-7721

ホームページ <http://4on.or.jp/>

メールアドレス

[madoka753@sky.plala.or.jp](mailto:madoka753@sky.plala.or.jp)

発行責任者 野田 大燈

# 絨毯（防火カーペット）写真

変更前



変更後

